



DEPARTMENT OF MEDICINE, CHIBA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE

1-8-1 INOHANA, CHUO-KU, CHIBA, 260-8670, TEL +81-43-226-2092, FAX +81-43-226-2095

国際シンポジウム“早老症と関連疾患”2018

International Meeting on RECQ Helicases and Related Diseases 2018

開催および演題募集のお知らせ

謹啓

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、平成30年2月16日-18日に、千葉県木更津市のかずさアカデミアホールにて、国際シンポジウム“早老症と関連疾患”2018、(International Meeting on RECQ Helicases and Related Diseases 2018)を開催する運びとなりました。多くの皆様にご来場、ご演題を頂きたく、何卒お願い申し上げます。

早老症およびその類縁疾患として知られる RECQ ヘリカーゼ病(ウェルナー、ブルーム、ロズムントムソン症候群)やハッチンソン・ギルフォード(HGP)症候群、コケイン症候群、色素性乾皮症は DNA 修復や核の機能に関わる遺伝子の変異を原因とし、出生後の様々な時期から、特徴的な顔貌、毛髪の異常、皮膚症状、糖尿病、動脈硬化や癌などの老化促進徴候を呈する疾患群です。根治療法が未開発である事から、患者は様々な症状に苦しみ、生命予後や QOL が損なわれています。

本シンポジウムはこれら早老症の病態と治療について論じる、アジアで初めての国際シンポジウムです。早老症研究のみならず、細胞老化やミトコンドリア、ゲノム、疾患 iPS 細胞など関連の領域からも第一線の基礎、臨床研究者をお招きし、新たなトランスレーショナルリサーチを生み出す機会を目指しております。早老症にとどまらず、一般的な老化の研究者の皆様にもご興味を持って頂ける内容となっております。ポスターにて一般演題も募集しております。

ホームページは <http://www.jtbw-mice.com/recq2018/> をご参照下さい。

老化や関連疾患に興味をお持ちの皆様の幅広いご参加をお待ちしております。

2017年11月

主催: RecQ2018 実行委員会ならびに公益財団法人難病医学研究財団
実行委員長 千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学
教授 横手 幸太郎

事務局 千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学
助教 前澤 善朗

お問い合わせ: (recq2018@west.jtb.jp)